

日本遺産「石見の火山」かるた 読み句一覧

題字	読み句	概要
あ	あわい青 福光石は グリーンタフ	福光石は淡い青緑色をした石で、火山灰などが固まってできた凝灰岩です。この色の凝灰岩は日本海が広がった地殻変動の時代の火山の噴出物によく見られ、グリーンタフと呼ばれます。
い	石銀に 町が栄えた 江戸時代	石見銀山の仙ノ山の山頂に近い石銀には、16世紀から17世紀の頃に銀をとる人たちが暮らす町がありました。
う	牛を飼い 三瓶の草原 四百年	草原は三瓶山を代表する風景です。江戸時代の前半に牛の飼育に取り組んだ歴史があり、以来、400年にわたって牛を飼いつづけてきたことで草原が維持されてきました。
え	江戸時代 石見銀山 幕府領	関ヶ原の戦い(1600年)に勝った徳川家康は、すぐに石見銀山を押さえて、江戸幕府の直轄地にしました。
お	鬼岩に 鬼が残した 指の跡	鬼岩はそびえ立つ大岩で、古くから大屋町鬼村地区の目印でした。ここには鬼の伝説があり、鬼岩にある5つの穴は鬼の指跡と言われています。
か	神宿る 静之窟は 神話の地	静間町の静之窟は、オオナムチとスクナヒコがこもって国造りの相談をした場所と言われています。
き	菊の花 集めたような あられ石	松代鉱山でとれたあられ石は、表面が小菊の花を集めたような模様です。球状で大きなものはバレーボールくらいあり、世界でも他にない形です。
く	久手の海 太古の巨木 珪化木	久手町波根西にある波根西の珪化木は、約1500万年前に火山噴火で埋もれた樹木の化石です。
け	珪化木 仁万海岸の 宝物	仁摩町の仁万の珪化木は、大型の樹木化石が2個あります。約1600万年前の樹木が火山噴火で埋もれたものです。
こ	琴ヶ浜 日暮れとともに 漁火よ	踏みしめると音を奏でる鳴り砂海岸の琴ヶ浜からは、夏の間は水平線に沈む夕日を見ることができ、暗くなるとともにイカ漁の漁火が点ります。
さ	さひめ山 国引きの綱 とめた杭	「さひめ」は三瓶山の古名です。出雲の国引き神話では三瓶山は海の彼方から引いた国をつなぎとめた杭とされます。
し	しろがねの 湧いていづるや 仙ノ山	仙ノ山は石見銀山の中心で、16世紀には世界でも指折りの量の銀(しろがね)がとれました。
す	砂が鳴る 琴ヶ浜の 盆踊り	仁摩町馬路の盆踊りは鳴り砂の琴ヶ浜で行われます。3種類ある踊りと口説きは、職人の町だった馬路の歴史を反映していると言われます。
せ	世界から 注目集めた 日本銀	石見銀山の開発をきっかけに日本は銀の一大産地になりました。その銀は中国やヨーロッパから注目され、世界の人と文化の動きに影響しました。
そ	そば通を 喰らす三瓶の 在来種	三瓶山では江戸時代から伝わるソバが栽培されています。風味が良く三瓶ソバの名でブランドになっています。
た	多根の地に 伝わる神楽 六調子	三瓶町多根の多根神楽は古来の六調子を伝えます。佐比賣山神社の祭などで奉納されます。
ち	稚児滝が 縄文の森の 奇跡呼ぶ	三瓶町多根にある稚児滝の岩盤は、縄文の森「三瓶小豆原埋没林」を埋めた土砂を残す役割を果たしました。
つ	釣鐘の 形に見える 三瓶山	三瓶山はこもりとした形の火山です。釣鐘に似た形として、昔は釣鐘型火山とも言われました。
て	鉄の色 三瓶温泉 にごり湯に	三瓶温泉は薄茶色の濁り湯です。茶色は湯に含まれる鉄の酸化物(鉄さび)の色、カルシウムなどが白っぽい濁りを生みます。
と	トロッコで 石こう運んだ 松代鉱山	明治時代から昭和40年代まで、松代鉱山は国内有数の石こう鉱山でした。石こうはトロッコで静間駅に運ばれて貨物列車に積み込まれました。
な	七年に 一度の祭り 佐比賣山	三瓶町多根の佐比賣山神社では7年に一度大元祭が行われます。この時、多根神楽が奉納されます。
に	似た形 三瓶の峰は 親子孫	三瓶山の峰は男三瓶山、女三瓶山、子三瓶山、孫三瓶山と、家族のような名前です。全国でもこのような名前の山はなかなか見あたりません。
ぬ	ぬるめの湯 三瓶温泉 かけ流し	三瓶温泉の源泉は35～37度のぬるめの湯が湧き出ています。湯量が豊富で掛け流しで使われています。
ね	粘土から 瓦を作る 石見焼	大田市西部には良質の粘土層があり、瓦や大型の陶器を作る石見焼の原料に使われます。粘土は日本遺産の構成文化財ではありませんが大田市の大切な資源と産業です。
の	濃淡の 縞がくっきり 立神岩	波根町の立神岩は縞模様がくっきり見える地層が露出しています。白っぽい部分は火山灰、暗い色の部分は礫がたまってできた地層です。
は	春に舞う 大江高山 ギフチョウよ	大江高山は西日本有数のギフチョウ生息地です。希少植物のイズモコパイモ、ミスミノウが咲く3月からギフチョウが飛び、4月は多くの登山客が訪れます。
ひ	火を放つ三瓶の春の 風物詩	三瓶山の草原は牛を飼う牧野として利用されてきました。草原を管理する方法として野焼きが行われています。
ふ	踏む砂が 音を奏でる 琴ヶ浜	琴ヶ浜の砂は踏んだり、こすると音をたてる鳴り砂です。音の鳴り具合と鳴る範囲の広さはいずれも国内トップクラスです。
へ	変動の 時代の証拠 福光石	福光石は巨大な火山噴火で一気にとまった軽石や火山灰でできた石です。その火山噴火は日本海拡大の地殻変動と関係があります。
ほ	豊作を 祈る調べの 田植え囃子	三瓶町小屋原、池田などに伝わる小笠原流田植え囃子は、豊作を祈る神事に奉納されます。物部神社の御田植祭では小屋原の田植え囃子が奉納されます。
ま	町家あり 武家屋敷もある 大森町	石見銀山の 大森の町並みは、商人などが暮らした町家と武家屋敷が入り混じっていることが特徴のひとつです。
み	水が湧き 田の神宿る 三瓶山	三瓶山は豊富な湧き水に恵まれ、静間川と三瓶川の水源地の山です。田に水をもたらす山として、古くから信仰の対象でした。
む	村の名は 鬼一文字の 鬼岩の里	大屋町鬼村は、かつての村名は鬼村です。鬼の文字が使われた地名は全国にありますが、鬼一文字の村名はここだけでした。
め	恵あり 火山が つなぐ 日本遺産	日本遺産「石見の火山」が伝える悠久の歴史は、3つの時代の火山が大田市にもたらした恵と、それを生かして暮らしてきた人々の歴史の物語です。
も	物部の 祭りに三瓶の 神招く	物部神社の祭りのひとつ御田植祭は、三瓶山から田の神「サンバイ」を招いて一年の豊作を祈る祭です。
や	山を生む 火山の力 偉大なり	大田市で最も高い三瓶山と次に高い大江高山は火山が作った山です。大江高山火山は多くの山があり、そのひとつの仙ノ山では銀の鉱石が火山によって作られました。
ゆ	悠久の 時超え今に 縄文の森	縄文の森、三瓶小豆原埋没林は約4000年前の森の木々が立ったまま残る奇跡の森です。
よ	夜空には 満天の星 三瓶山	街明かりが遠い三瓶山では、晴れて月がない夜には多くの星がきらめき、まさに星がこぼれ落ちそうな夜空です。
ら	来航し 銀山目指した 西洋人	鉄砲やキリスト教などの技術や文化をもたらしたヨーロッパ人が日本を目指したきっかけは、石見銀山が産出する銀を手に入れるためだったと考えられています。
り	龍巖山 銀山守った 城の山	仁摩町大田にある龍巖山は1500年以上前の火山の「芯」です。その山頂には石見銀山を守った城がありました。
る	瑠璃色の 海が つないだ 銀の道	石見銀山の銀は鞆ヶ浦や沖泊の港から運び出されました。その銀はヨーロッパと東アジアをつなぐ航路が成立するきっかけになりました。
れ	レンゲツツジ 三瓶の牧野に 咲き誇る	大田市の花のレンゲツツジは、三瓶山の草原で見ることができます。放牧が盛んだった頃、毒があるレンゲツツジを牛が食べ残すため、草原に多く生えていました。
ろ	老木の 定め松は 代替わり	江戸時代に西の原の道の目印だった一里塚の上に植えられた松が定め松です。2本の大木がいましたが、近年枯れて2代目が植えられています。
わ	湧きいづる 三瓶温泉 火山の湯	マグマの熱で温められた湯が湧き出る三瓶温泉は、自然に湧き出る温泉としては中国地方で一番湯量が豊富です。